

篠島復庵 しのじま しかん 漢詩人、教育家。文久元年十一月一日越中國(世禰波郡)立野村生れ、大正十五年五月二十一日歿(八六二—九二六)。諱毅、字子弘、通稱久太郎。別號合翠軒、見心窩。藤田容齋の師事して漢學を修む。明治二十六年北陸新聞社に入り一時操觚者となるも、その前後郷土の教育に携はるること五十年に及んだ。「越中史畧」(明治二十八年刊)等郷土史籍の編述數種がある。また鱸松塘、木蘇岐山、錦引東海、松村(曲莊等)と交遊、漢詩人として一家を成した。

明治二十年に發表した「本邦文學近世の概畧」を始め、論說、漢詩文、俳歌を収めた『復庵遺稿』(昭和二年五月十日篠島先生彰徳會編輯)が出版せられた。

